

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	短期寿命気候汚染物質削減に関する国際パートナーシップ拠出金関連業務		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成29年度		担当課室	国際連携課国際地球温暖化対策室 水・大気環境局大気環境課		室長 新田 晃 課長 難波 吉雄		
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ホ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第10号		関係する計画、通知等	G8キャンプ・デービッド会議(平成24年5月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外におけるブラックカーボン等の短期寿命気候汚染物質の排出実態及び対策技術等に係る情報を収集・蓄積し、短期寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化のコアリション(CCAC)への拠出金の有効な活用の管理・監督を行うとともに、アジア地域などの途上国における短期寿命気候汚染物質及びエネルギー起源CO2の一体的削減に寄与し、気候変動及び大気汚染の防止に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	エネルギー起源の排出源における非効率・不完全燃焼等によって発生し、エネルギー起源CO2削減と密接不可分の関係にあるブラックカーボン等の短期寿命気候汚染物質の削減を目的として米国やスウェーデン等が平成24年2月に立ち上げた国際パートナーシップCCACの参加国として、資金拠出及び具体的貢献を行うための対策情報等の整理・評価を行う。(拠出先:UNEP、委託先:民間団体)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算					303	303
		補正予算					-	
		繰越し等					-	
		計					303	303
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	当該事業は、国際パートナーシップCCACの活動を支援する拠出金および関連情報の調査業務という性格上、数値による成果目標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当該事業は、国際パートナーシップCCACの活動を支援する拠出金という性格上、数値による指標を示すことは困難である。  なお、関連情報の調査業務については、調査実施件数(報告書数)を活動実績とする。		活動実績 (当初見込み)	調査実施件数 (件)	-	-	-	-
					(-)	(-)	(6)	
単位当たりコスト	-(円/-)		算出根拠	成果実績が無いため算出不可				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際エネルギー機関等拠出金	205	205					
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	98	98					
計	303	303						

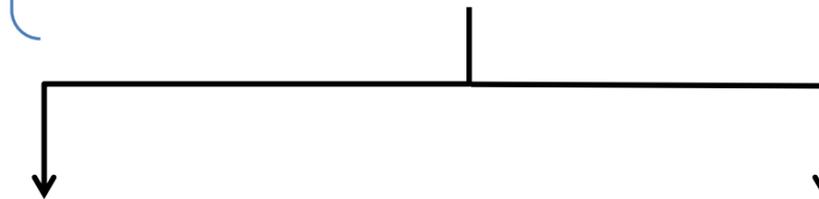
事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業はエネルギー起源CO2対策、健康影響防止の双方から意義が大きいブラックカーボンの排出削減を図るため、国際パートナーシップCCACへの支援や、国内外のブラックカーボンの排出実態及び対策についての調査等を行うものであり、国が優先して実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>昨年5月に開催されたG8首脳会合(キャンプ・デービッド)において、G8各国は2012年2月16日に立ち上げられた「短期寿命気候汚染物質削減の気候と大気浄化のコアリション(CCAC)」に参加することに同意しており、我が国としては、拠出金の使途等を精査して我が国の得る利益との関係における拠出額の妥当性を検討していく。また、G8首脳会合におけるファクト・シート「エネルギー及び気候変動に関するG8の行動」において挙げられた内容を踏まえ、国内における調査等によって実践につなげていく。調査実施にあたっては、競争性のある契約方式で支出先を選定するとともに、進捗状況を的確に把握することにより、効率的な実施に努める。</p>				
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25-024

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(新規/イメージ)

環境省  
303百万円

短期寿命気候汚染物質削減に関する国際パートナーシップ拠出金関連業務  
【内容】  
国内におけるブラックカーボン等の短期寿命気候汚染物質の排出実態及び対策技術等に係る情報を収集・蓄積し、短期寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化のコアリション(CCAC)への拠出金の有効な活用の管理・監督を行うとともに、アジア地域などの途上国における短期寿命気候汚染物質及びエネルギー起源CO2の一体的削減に寄与し、気候変動及び大気汚染の防止に貢献する。



【拠出】

A 国連環境計画(UNEP)  
205百万円

【委託(公募・総合評価)】

B 民間団体  
98百万円

【内容】  
CCACの参加国として、当パートナーシップに対し拠出を行う。

【内容】  
国内外のブラックカーボン等の排出実態及び対策についての調査を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)